

○関東・中部地方の地震活動

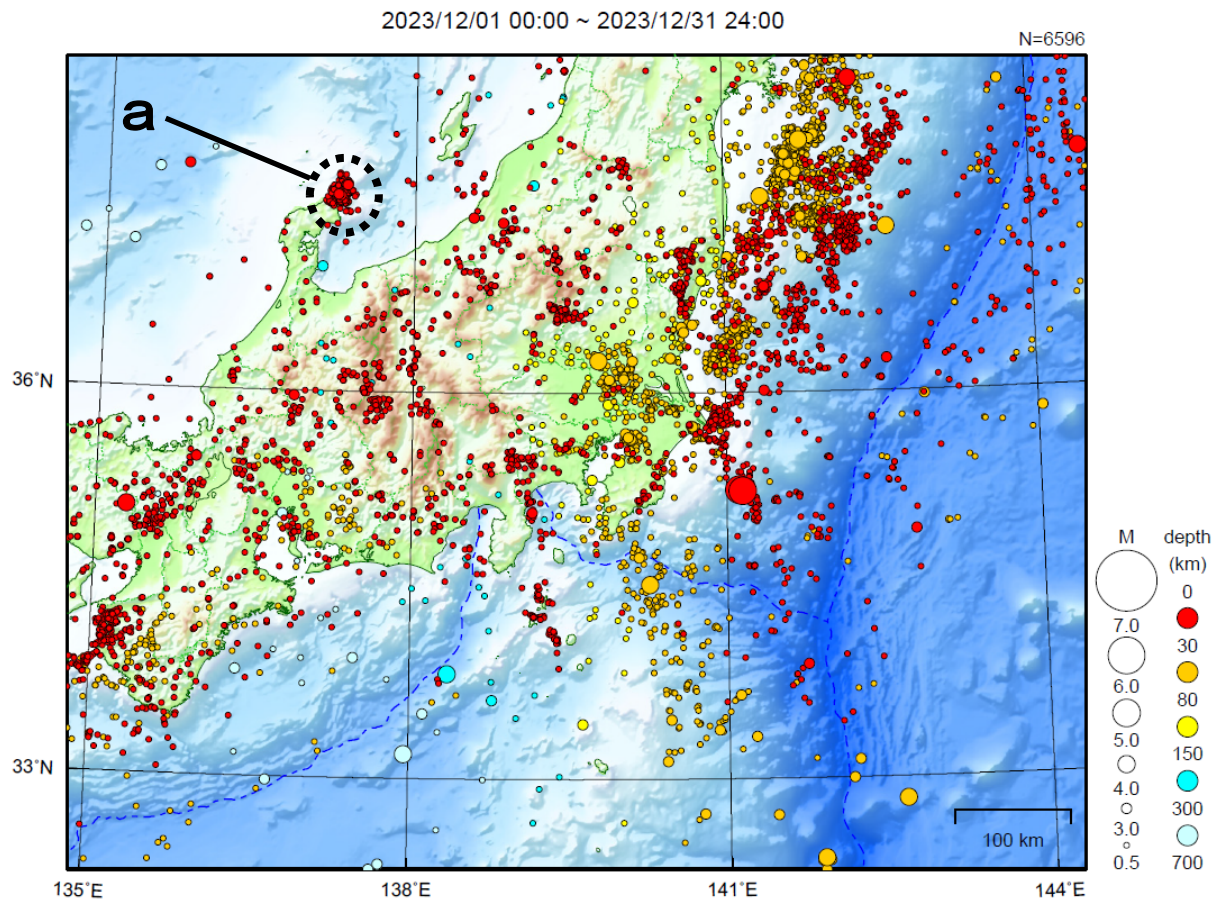


図6 関東・中部地方の震央分布図（2023年12月1日～12月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を

[概況]

12月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は56回（11月は51回）であった。12月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

- a 石川県能登地方では、12月中に震度1以上を観測した地震が8回（震度2：1回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震4回及び富山湾で発生した地震2回を含む）発生した。このうち最大規模の地震は、24日08時07分に能登半島沖の深さ11kmで発生したM3.8の地震で、石川県七尾市及び珠洲市で震度1を観測した（p. 9参照）。

（図の範囲外）

2日23時37分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ40kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した（p. 49～56参照）。